

オタゴ大学（ニュージーランド）Prof. Mark Stirling の地震に関する講義

- 【日時】 令和5年12月16日（土）
【場所】 オンライン講座（本校生徒は第1PC教室で受講）
【受講生徒】 1年生7名、2年生4名

【内容】

SSHの指定を受けている東京都立多摩科学技術高等学校さんからご案内をいただき、ニュージーランド・オタゴ大学のProf. Mark Stirlingによる「地震」をテーマにしたオンライン講座に参加しました。本校では3月にニュージーランドでの海外研修を計画しており、その研修に参加する生徒は事前研修の一環として今回の講座を受講しました。

講座は、プレートの運動から起こる境界部での変動と、それによって発生する地震のメカニズムや、これまでのデータに基づいたハザードマップなど、専門的な内容を英語で理解するというチャレンジングなものでしたが、講義後に本校生徒からの積極的な質問もあり、最大限に理解しようとする姿が見られました。



【参加した生徒の感想（一部抜粋）】

- ・NZの地震の被害と日本の地震の被害とを比べているのは初めてみて、NZもかなり被害を受けていることを初めて知った。プレートの運動と地球の中心部の動きの関係性は初めて知れたのでよかった。
- ・講義の進捗がかなり早く、完全に理解することはできなかったけれど、ネイティブの英語の速さに慣れる練習になったと思う。今回はスライドがあったので大体の大筋を掴めたが、英語は所々聞き取れないところがあったので、語彙を増やすだけでなく、前後の話やスライドから推測する力もつけたいと思った。
- ・難しい単語があっても文全体からニュアンスを掴むことができた。とても難しい授業だったけど図を見ながら頑張ることができた。